

2016年 川崎工場 環境報告書

Kawasaki research&manufacturing
facilities sustainability report

FUJITSU



富士通フェスティバル
春まつり川崎



富士通フェスティバル
イルミネイト川崎



就業実習受け入れ



女子バスケットボール部
ふれあい教室

1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」を追求してきた富士通グループは、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、FUJITSU Wayの企業指針「社会に貢献し地球環境を守ります」に基づき、環境経営に取り組んでいます。

1. ごあいさつ

2015年に「COP21(気候変動枠組条約第21回締約国会議)」がパリで開催され、2020年以降の温暖化対策の国際的枠組み「パリ協定」が成立し、先進国・途上国が協調して、地球規模で対策をとることが合意されました。

第8期富士通グループ環境行動計画においては、事業を通じた社会への貢献と自らの事業活動の環境負荷低減の2軸で第7期活動を深化させ行動します。ICTサービスおよび製品のエネルギー効率・資源効率の向上によりお客様・社会の持続可能性に貢献するとともに、バリューチェーン全体で自らの事業活動における温室効果ガスの削減・環境負荷の低減に取り組みます。川崎工場はじめとする周辺事業所では、地球規模の問題を社員一人ひとりが自らの問題ととらえ、工場、オフィス、家庭における環境負荷の低減に取り組み、社会貢献活動に積極的に参加するよう取り組みを進めてまいります。

富士通株式会社
川崎工場長

要藤 靖彦

2. 事業所の紹介

■ 富士通株式会社 川崎工場

- 所在地 : 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1
- 開設 : 1938年(昭和13年)10月
- 敷地面積 : 約155,000㎡
- 事業内容 : システム・製品に関わる全ての研究、開発、各生産工場の連携・統合業務



3. 環境活動

■ 地球温暖化防止への取り組み

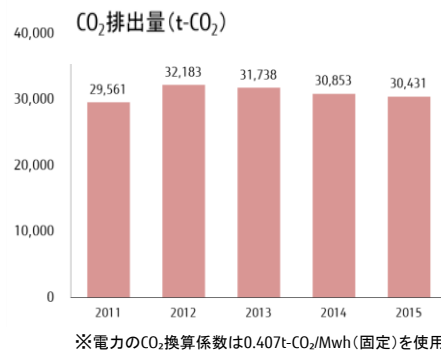
川崎工場ではエネルギー消費CO₂排出量を抑制するため、省エネ型設備の導入やオフィス空調温度の適正化、照明・OA機器・空調機器の節電などに取り組んでいます。

■ グリーン電力(※1)の使用

社会における再生可能エネルギーの普及拡大は、地球温暖化対策、エネルギー源多様化による安定供給の確保、エネルギーを基軸とした経済成長などの観点から、より一層重要となっています。

川崎工場では、富士通フェスティバル 春まつり／イルミナイト川崎のすべての電力に風力発電によるグリーン電力を使用しています。

(※1) 風力、太陽光などの自然エネルギーにより発電したCO₂を発生しない電力



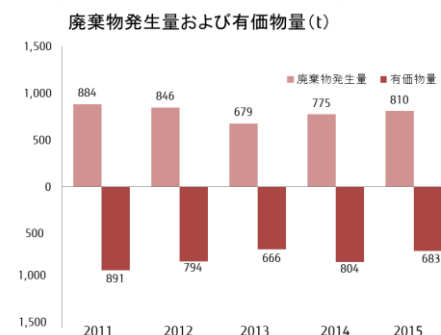
■ 廃棄物対策

川崎工場では資源循環型社会をめざして3R(Reduce:発生抑制、Reuse:再利用、Recycle:再資源化)を推進するという基本方針のもと、より高度な3Rを目指して、社員一人ひとりが廃棄物の分別徹底を推進しています。

■ 生ゴミ肥料化

社員食堂から発生する生ゴミを有機肥料化し、廃棄物を削減するとともに廃棄物の運搬及び焼却処分時のCO₂排出量を削減しています。

また、川崎工場では隣接した川崎市立中央支援学校 高等部 分教室よりインターンシップの受け入れを行っており、食堂から出る生ゴミの肥料化に関する業務に従事いただきました。



4. 社会貢献活動

川崎工場は地域社会の一員として地域と密着した環境コミュニケーションを行い、地域への貢献と調和を図ります。

■ 栗木山王山緑地保全活動

川崎工場は、川崎市が保有する「栗木山王山特別緑地保全地区」(川崎市麻生区)の緑地保全活動を2012年度より開始しました。これまで当地区は、雑木林の利活用が長年放棄され、竹が侵入するなど荒廃した状態にあり保全管理が課題となっていました。このため、川崎市と川崎工場が保全管理計画を策定。計画の段階から行政と企業が協働し、企業の持つ独自技術やマンパワーを緑地保全活動に活用する先進的な取り組みです。緑地保全活動は、川崎市支援のもと、富士通グループ社員がボランティア活動として、雑木林内に侵入した竹の伐採、下草刈りなどを実施。加えて、独自のICTを活用した生物調査などにも取り組み、概ね7ヶ年をかけ良好な里山への再生を目指します。



緑地保全活動の様子

■ とどろきアリーナ創立20周年記念 ボールゲームフェスタ **TOPICS**

とどろきアリーナ創立20周年を記念し「かわさきスポーツパートナー ボールゲームフェスタ」イベントが開催されました。イベントには、市内小学生150名に参加いただき、かわさきスポーツパートナーである、フロンティアーズ(アメリカンフットボール)、レッドウェーブ(バスケットボール)と一緒にスポーツを楽しみました。イベントの最後には、参加した選手たちによるサイン会も実施され、市民と選手が楽しんで交流する良い機会となりました。また、今回のイベントには、川崎市の友好都市である島根県益田市の子どもたちも招待しました。



ボールゲームフェスタ

■ 富士通フェスティバル 春まつり／イルミナイト川崎

川崎工場では、地域のみなさまに弊社の取り組みをより身近に感じていただくことを目的として、富士通フェスティバル春まつり／イルミナイト川崎を開催しています。イルミナイトでは、富士通の最先端技術を使用しウェアラブルデバイスを着用した体験型ゲームを実施しました。



体験型ゲームの様子

5. 環境教育・環境啓発活動

環境の大切さを知っていただくため、環境教育や各種イベントを実施しています。

■ 食と農業の教育 **TOPICS**

富士通ホーム&オフィスサービスでは、福島県会津若松市に構築した「会津若松Akisaiやさい工場」で、低カリウム野菜を生産しています。

川崎工場近隣小学校の児童の皆さんに「食・農クラウドAkisai」(※2)を活用した植物工場事業の取り組みを通じて、食糧生産に従事する人々の工夫や努力、食の楽しさ、未来の農業を考え、食と農業と環境について学習していただきました。

(※2) 露地栽培・施設園芸における生産・経営・販売などを包括的に支援するサービス



授業の様子

■ エコ暮らしこフェア

川崎工場は2009年より、川崎市が推進しているカーボンチャレンジエコ戦略の一環として、川崎市、川崎市公園緑地協会、川崎フロンターレと協働でCO₂削減に取り組む「カーボン・チャレンジ(CC)等々力」を結成しています。その取り組みの一環として、等々力緑地において、CC等々力主催による、低炭素、資源循環、自然共生を呼びかける環境啓発イベント「第5回エコ暮らしこフェア」を開催しました。

富士通川崎工場ブースでは、タブレット教室(地球1個分で暮らすために～エコロジカル・フットプリントから考える～)を開催し、未来を担う子ども達が地球環境問題についてその原因を知り、解決するために出来ることを考え、行動する力を養うことを目的に実施しました。



イベントの様子

■ セミの羽化観察会

川崎市公園緑地協会ご協力のもと、自然環境保全活動の一環として川崎市等々力緑地(ふるさとの森)でセミの羽化観察会を開催しました。お子さまの夏休みの自由研究として、生き物の不思議を体験していただく貴重な機会となりました。



羽化の様子

■ 川崎工場外柵沿い花の植栽活動

川崎市と川崎工場は協働して美しい街路景観を創出することにより、花と緑あふれる住環境の実現を図ることを目的として、緑化推進重点地区における緑の景観づくりの推進に関する協定を締結しています。協定に基づき工場南側外柵沿いに花壇を設置し、花の植え替えを近隣小学校児童の皆さんに行っていただきました。



植え替えの様子

6. 安心・安全な工場への取り組み

■ 土壌・地下水汚染

川崎工場では、過去の操業による土壌・地下水汚染が判明しています。そのため敷地内に観測井戸を設け、地下水汚染の状況について監視するとともに、汚染源と推定される場所や敷地境界で地下水の揚水処理を実施しています。以下の表は、観測井戸で2015年度法規制を超える測定値が確認された物質の最大のもを記載しています。

物質名	測定値	規制値
シス-1,2-ジクロロエチレン* ¹	6.0mg/L	0.04mg/L以下
ひ素及びその化合物* ²	0.038mg/L	0.01mg/L以下

*¹ 使用履歴のあるトリクロロエチレンの分解生成物質。

*² 最大値が検出された観測井戸周辺では検出された物質の使用履歴がなく、自然由来によるものと推定しています。

7. 環境マネジメントシステム

■ EMSの構築・運用状況

富士通グループでは国際規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、グループが一体となった環境改善活動を推進しています。2004年度末に国内連結子会社でISO14001を取得した後、対象を海外連結子会社に拡大し、2005年度末にグローバル統合認証を取得しました。川崎地区もその一員として環境マネジメントシステムを運用し、効率的で実効性の高い環境活動の推進に努めています。

8. 環境方針

富士通は、1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」という考えのもと、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、富士通グループの事業の独自性を反映させた環境経営を推進するために「富士通グループ環境方針」を定めています。川崎地区では、富士通グループ環境方針に基づき、独自の環境方針と重点テーマを定め、環境マネジメント活動に積極的に取り組みます。

■ 川崎地区環境方針

川崎工場は地域環境との調和をコンセプトとする「池と前庭のある公園式工場」として誕生し、現在も都市化が進む中において、多摩川や川崎市等々力緑地と連携した地域全体の貴重な緑地空間として、その基本方針を引き継いでいます。

川崎地区は川崎工場を中心とした複数事業所で構成され、当社製品に関わる全ての研究部門、開発部門、各生産工場を連携・統合する富士通グループの研究開発の中核であるとともに、地域と隣接する都市型活動拠点であることから、工場開設時のコンセプトを大切に継承しつつ、地区の特徴を最大限に活用しながら『人と環境が融合した透明性のある環境活動』を基本理念として、以下の方針に基づき環境活動を推進します。

- (1) ISO14001に基づき構築した環境マネジメントシステムにより環境保全活動を推進します。
- (2) 当拠点の活動、製品、サービスに関わる環境側面を常に認識し、環境汚染の防止を推進するとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- (3) 当拠点の活動、製品、サービスに関わる環境関連法規、協定、自主基準及び組織が同意したその他の要求事項などを順守します。
- (4) 良き企業市民として、環境保全活動への協力や情報提供、社会や地域における環境政策への支援・協力を積極的に行います。
- (5) この環境方針の達成のため、環境目的・目標を設定し、当拠点内の関係・関連会社を含む全部門、全社員をあげて環境活動を推進します。
- (6) 当拠点の活動、製品、サービスに関わる環境側面のうち、次の項目を環境活動の重点テーマとして取り組みます。
 - 自らの事業活動/事業拠点の温室ガス(GHG)排出量を削減する
 - ・エネルギー消費CO₂排出量の削減
 - 社会貢献活動の推進
 - ・良き企業市民としての活動
- (7) 社員一人ひとりは、それぞれの業務や市民としての立場を通じて、持続可能な資源の利用、気候変動対策や生物多様性保全をはじめとした地球環境保全に貢献し、更に広く社会へ普及啓発を図ります。
- (8) 本環境方針、目的・目標は、年1回定期的に見直します。なお、見直す必要が生じた場合は、環境管理統括責任者の判断で適宜見直します。
- (9) 本環境方針、目的・目標は、川崎地区環境マネジメントマニュアルで定義した適用範囲に基づき、当拠点及び当拠点のために働く全ての人々に周知すると共に、必要に応じ、社外にも開示します。



構内で育成したひょうたん



カルガモの雛



栗木山王山特別緑地保全地区

富士通株式会社

川崎工場 環境管理部
〒211-8588 川崎市中原区上小田中4-1-1
TEL: 044-754-8976 FAX: 044-754-2524

発行責任者 要藤 靖彦
編集責任者 桐原 正行
発行年月日 2016年6月
記載事項対象期間 2015年4月～2016年3月
報告URL: <http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/communication/report/group/>



いつも地球を見守っている

印刷: 2016年6月 - 01